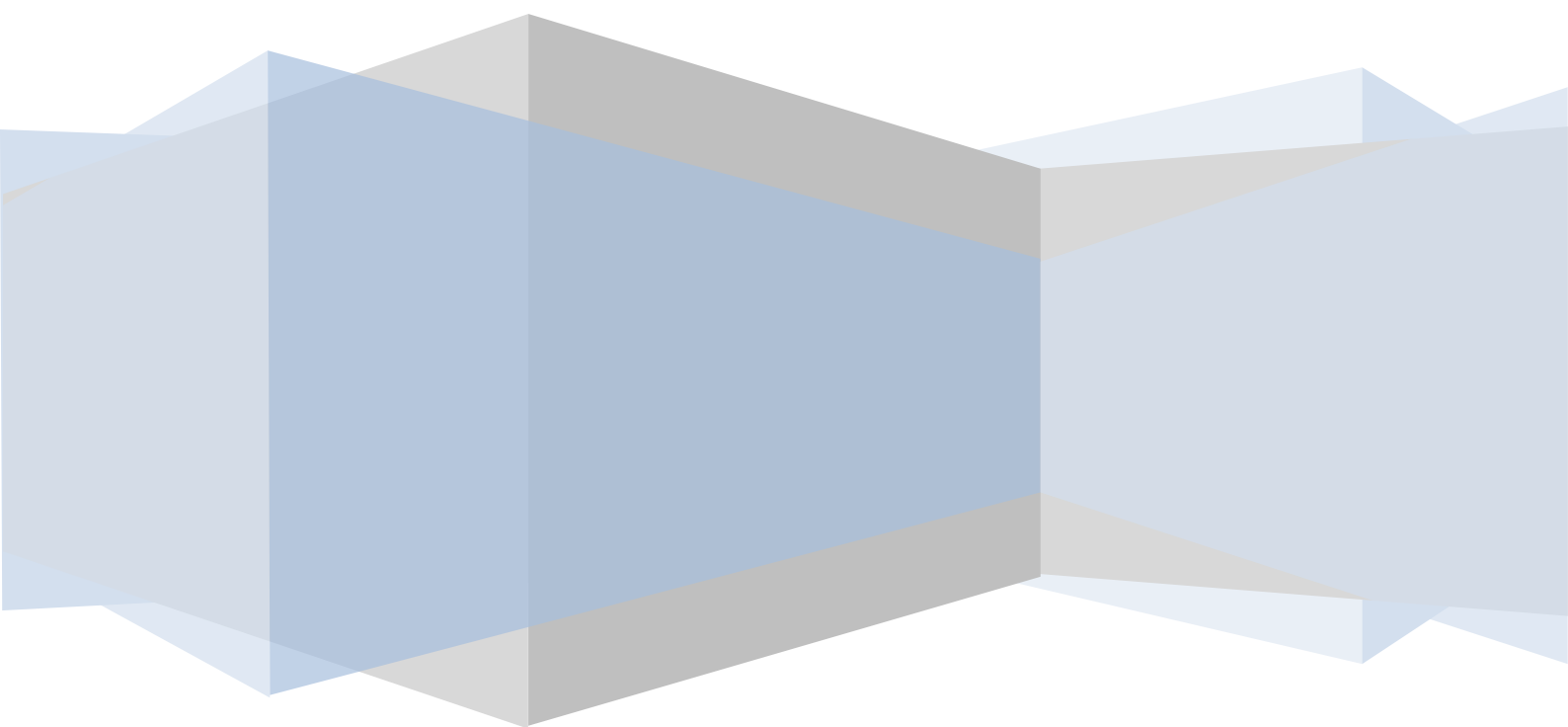


J B D F

平成 22 年度事業報告

財団法人日本ボールルームダンス連盟



I 法人の概要

1 設立年月日 平成4年3月24日

2 寄付行為に定める目的

この法人は、わが国におけるボールルームダンスに関し、ダンス技術の発展と普及を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3 寄付行為に定める事業内容

- (1) ボールルームダンス競技の普及及び指導
- (2) ボールルームダンスの競技規則の制定
- (3) ボールルームダンスに関する全国的及び国際的競技会の開催並びにその他競技会の開催、認定及び公認
- (4) ボールルームダンスに関する指導者及び審査員の養成並びに資格認定に関する規則の制定及び認定制度の実施
- (5) ボールルームダンス競技に関する記録の認定及び管理並びに表彰
- (6) ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催
- (7) 我が国のボールルームダンス競技界を代表してボールルームダンスの国際組織への加盟
- (8) ボールルームダンス競技の国際的競技会等への選手・役員等の派遣
- (9) ボールルームダンスに関する調査及び研究
- (10) ボールルームダンス競技に関する施設の設置及び運営
- (11) ボールルームダンスに関する出版物の刊行
- (12) ボールルームダンス教室の健全な育成、指導及び助言
- (13) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

文部科学省 スポーツ・青少年局 スポーツ振興課

5 会員の状況

正会員	1725名
登録会員	11167名
認定会員	661名
合計	13553名

6 主たる事務所・従たる事務所

主たる事務所 : 東京都中央区日本橋浜町2丁目33番4号
日本ダンス会館

従たる事務所 : (北海道総局)
北海道札幌市豊平区平岸一条2丁目5番10号
タカダンス栗原ビル2階

(東部総局)
 東京都中央区日本橋浜町2丁目33番4号
 日本ダンス会館

(中部総局)
 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目3番16号

(西部総局)
 大阪府大阪市北区梅田2丁目1番21号

(九州総局)
 福岡県福岡市早良区飯倉6丁目31番3号

7 役員に関する事項

会長理事	三角	哲生	非常勤	学校法人 二階堂学園理事長
副会長理事	田邊	重光	非常勤	田邊工業(株)代表取締役会長
副会長理事	西坂	範之	非常勤	西坂スミダダンススクール
専務理事	桜本	和夫	非常勤	桜本ソーシャルダンスアカデミー
常務理事	遠藤	利男	非常勤	(株)NHKエンタープライズ元社長
常務理事	笠原	一也	非常勤	日本体育・スポーツ政策学会会長
常務理事	板垣	親雄	非常勤	板垣ダンススクール
常務理事	守田	頼定	非常勤	モリタダンススクール
常務理事	浅野	勉	非常勤	アサノダンススクール
理事	玉利	斎	非常勤	(財)日本健康スポーツ連盟理事長
理事	田中	一昭	非常勤	(財)大学基準協会専務理事
理事	大山	綱明	非常勤	(財)日本関税協会理事長
理事	佐伯年詩雄		非常勤	学校法人タイケン学園スーパーバイザー
理事	久米	邦貞	非常勤	(財)ベルリン日独センター総裁
理事	内田	芳昭	非常勤	国分寺原田ダンススクール
理事	佐藤	伴幸	非常勤	佐藤伴幸ダンススクール
理事	附柴	雄多可	非常勤	ABCダンス教室
理事	守谷	吉晴	非常勤	YMダンス教室
理事	釘崎	信顕	非常勤	防府スポーツダンスクラブ
監事	上田	長一郎	非常勤	公認会計士・協栄監査法人
監事	四本	紀男	非常勤	オオモリヨツモトダンススクール
監事	太田	英光	非常勤	オオタダンススクール

(平成23年3月31日現在)

8. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状況

単位：百万円

事業年度	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期
前期繰越 収支差額	12	31	32	34	40
当期収入 合計	451	423	382	374	364

当期支出 合計	432	422	380	368	364
当期収支 差額	19	1	2	6	0
次期繰越 収支差額	31	32	34	40	40
資産合計	391	391	380	395	375
負債合計	34	30	35	43	44
正味財産	357	361	345	352	331

11. 法人の課題

※ 公益認定法人への移行

公益認定法人への移行に向けて基本的な定款変更案も仮承認され、いよいよ具体的タイムスケジュールを設定して、公益認定申請時期を平成24年の後半を目標に具体的申請に向けた準備作業を進める。

Ⅱ 活動報告書

I. 運営委員会事業

【公益目的事業】

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「競技会」

■現寄附行為の（事業）第4条「（1）ボールルームダンス競技の普及及び指導」及び「（3）ボールルームダンスに関する全国的及び国際的競技会の開催並びにその他競技会の開催、認定及び公認」

1. 第31回／2010年日本インターナショナルダンス選手権大会

- | | |
|------------|---|
| (1) 趣 旨 | 国際競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成及び国際親善に役立つとともに、国内のボールルームダンスの普及及び振興に寄与する。 |
| (2) 開催期日 | 平成22年6月12日（土）13日（日） |
| (3) 会場 | 日本武道館大ホール |
| (4) 主催 | 財団法人日本ボールルームダンス連盟 |
| (5) 後援 | 文部科学省 |
| (6) 協賛 | 北辰商事(株)、チャコット(株)、サンスター(株)ほか |
| (7) 参加者数 | 2,370人（1,185組） |
| (8) 一般来場者数 | 約17,000人（2日間合計） |
| (9) 内容 | 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘し、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グランドシニア選手権、全日本シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行った。 |
| (10) 特記事項 | NHKの収録およびテレビ放映されるとともにプロフェッショナルとアマチュア、ジュニア、ジュブナイルのそれぞれの部門の優勝者にNHK杯の授与があった。 |

2. ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル2010

- | | |
|------------|--|
| (1) 趣 旨 | ボールルームダンスの楽しさを理解してもらうとともに、青少年の技術力の向上と健全育成に貢献し、ボールルームダンスの底辺拡大及び普及に寄与する。 |
| (2) 開催期日 | 平成22年7月31日（土） |
| (3) 会場 | 中央区立総合スポーツセンター |
| (4) 主催 | 財団法人日本ボールルームダンス連盟 |
| (5) 参加者数 | 448人 |
| (6) 一般来場者数 | 約400人 |
| (7) 内容 | 小学生の低学年、中学年、高学年、中学・高校生の4部門に分かれ、カップルではなくソロで踊るシャドーダンスで競技を行った。 |
| (8) 特記事項 | 大会の一環として、バッジ・テストも開催した。 |

3. 平成22年度小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）認定スポーツ大会

- (1) 趣 旨 青少年の競技力の向上と心身の健全育成及びアスリート育成を図るとともに、国内でのボールルームダンスの認知及び底辺拡大と地域の活性化に寄与する。
- (2) 開催期日 平成22年7月31日（土）8月1日（日）
- (3) 会 場 中央区立総合スポーツセンター
- (4) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 後 援 総務省、文部科学省、東京都教育委員会、中央区ほか
- (6) 協賛・協力 大塚製薬(株)、サンスター(株)、日本スポーツダンス振興会、人形町商店街協同組合
- (7) 参加者数 453人（延べ554組）
- (8) 一般来場者数 約1,800人（2日間合計）
- (9) 内 容 未就学の部・小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの2部門において競技を行った。
- (10) 特記事項 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認スポーツ大会として、財団法人地域活性化センターの支援（500万円の助成金）及び東京都中央区の協力を得て実施した。

4. 第9回全国国民スポーツダンスフェスティバル2010

- (1) 趣 旨 都道府県対抗によるチーム戦を行うことにより、郷土への意識の高揚及び選手間の交流促進に役立つとともに、国民体育大会開催県での実施により各県を持ち回りで開催することにより、各地区でのボールルームダンスの活性化と普及・促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成22年9月4日（土）5日（日）
- (3) 会 場 千葉ポートアリーナ（千葉市）
- (4) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 主 管 財団法人日本ボールルームダンス連盟東部総局千葉県支局
- (6) 後 援 文部科学省、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市ほか
- (7) 協 賛 チャコット(株)
- (8) 参加者数 676人（338組）
- (9) 一般来場者数 約1,500人（2日間合計）
- (10) 内 容 全国プロフェッショナル選手権と全国アマチュア選手権（個人戦）及び都道府県代表選手（プロ・アマ混合）による都道府県対抗チームマッチ選手権を行った。

5. 2010年全日本10ダンス選手権大会

- (1) 趣 旨 競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成の推進を図るとともに、国内のボールルームダンスの普及及び振興に寄与する。
- (2) 開催期日 平成22年10月3日（日）
- (3) 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）
- (4) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 後 援 文部科学省、静岡新聞社・静岡放送

- (6) 協 賛 チャコット(株)、モダン出版(株)、榊タカ・ダンスファッション、ダンスファッション・ワールド、(株)雅、(株)千葉共立、(株)ステージループ
- (7) 参加者数 590人(295組)
- (8) 一般来場者数 約1,500人
- (9) 内 容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行った。
- (10) 特記事項 中部総局静岡県支局と連携しながら実施した。

6. ドーピング検査事業

◎スポーツ振興くじ (t o t o) 助成事業

- (1) 趣 旨 選手の競技力の向上の一環としてドーピング検査を実施することで、健全な屋内スポーツとしてのボールルームダンスの普及・促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成22年10月16日(土)17日(日)
- (3) 会 場 日本ガイシスポーツプラザ第2競技場
- (4) 対 象 2010年J B D Fプロフェッショナルダンス選手権大会出場選手
- (5) 内 容 財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ (t o t o) の助成を受け、ドーピング検査を実施した。
- (6) 特記事項 今回の検査においては、ドーピングに対する違反者はいなかった。

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「講座、セミナー、育成」

■現寄附行為の(事業)第4条「(1) ボールルームダンス競技の普及及び指導」及び「(6) ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

1. ナショナルチーム選手育成事業 (ナショナルチーム強化講習会)

- (1) 趣 旨 選手の技術力・競技力の向上とアスリート育成に貢献し、我が国のボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、ボールルームダンスの普及・促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成23年2月20日(日)
- (3) 会 場 シーバンスホール
- (4) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 参加者数 22人(11組)
- (6) 内 容 平成22年度小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップの男女カップル各部門ファイナリスト及びOBの指定カップルを対象に、ダンスの技術向上に必要な運動要素やテクニックについての講習を行った。
- (7) 講 師 [スタンダード]
谷 堂 誠 治 : 元全日本スタンダードチャンピオン
[ラテンアメリカン]
北 條 明 : 元全日本ラテンアメリカンチャンピオン
- (6) 特記事項 中国より欧陽ラテンダンスクラブのジュニアの生徒が来日し、本講習会に参加した。発表会を行うなど交流を図った。

2. 第11回コンgres

- (1) 趣 旨 アスリート及びトレーナーやコーチアの育成に貢献するとともに、ボールルームダンスの普及・促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成23年3月4日(金)
- (3) 会 場 幕張メッセ・国際会議場
- (4) 主催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 参加者数 約430人
- (6) 内 容 「今、日本の選手が世界で飛躍するためには」をテーマに、様々な角度からダンスに役立つ幅広い講習を行った。
- (7) 講 師 [芸術かテクニクのどちらを優先する? F. マサイアス・アレクサンダーの発見に基づく革命的な新しい見地]
ジェレミー・チャンス : BODY CHANCE代表
[アルゼンチンタンゴ]
山尾洋史・恭子 : 2009年度アルゼンチンタンゴサロン部門
世界チャンピオン
[フラメンコ]
吉成 侯子 : フラメンコ舞踊家
藤井 かおる : フラメンコ舞踊家
[ラテンアメリカンレクチャー]
桑原明男・佐代子 : 元全日本ラテンアメリカンチャンピオン
[スタンダードレクチャー]
桜田 哲也 : 元全日本スタンダードチャンピオン

3. ジュニアダンス開発事業

- (1) 趣 旨 青少年の技術力の向上と健全育成に貢献するとともに、全国各地にジュニアスクールを展開し、その開講教室に対し支援や助言を行い、各地区でのボールルームダンスの活性化及び底辺拡大に寄与する。
- (2) 開催期日 ジュニアスクールは各会場により異なる
- (3) 会 場 ジュニアスクールは全国の各教室や公民館等で開催(75教室)
- (4) 内 容 各ジュニアスクールにおいて、1回につき60分~90分行い、13回を1クールとし年間で3クール行った。そのジュニアスクール開講教室に対し、参加人数に応じて、出席カードとシールを作成し送付した。また、1回の開催につき500円の交通費の支援を行った。
- (5) 特記事項 日頃の成果を試す機会および目標や達成感を与えることを目的として、山形県と福島県において、バッジ・テストも実施した。

■公益財団法人認定に係わる事業区分:「自主公演」

■現寄附行為の(事業)第4条「(1) ボールルームダンス競技の普及及び指導」

1. 全国生涯学習フォーラム・まなびピア高知2010

(ダンス・マイライフ・フェスティバル in 高知)

- (1) 趣 旨 一般参加型のダンスタイムや多種多様な内容を盛り込むことにより、生涯スポーツとしてのダンス文化の普及に貢献するとともに、全国生涯学習フェスティバル開催県での実施により各県持ち回りで開催し、

- 各地区でのボールルームダンスの活性化及び底辺拡大に寄与する。
- (2) 開催期日 平成22年11月21日(日)
- (3) 会場 高知県立県民体育館
- (4) 主催 財団法人日本余暇文化振興会、財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 主管 財団法人日本ボールルームダンス連盟西部総局高知県支局
- (6) 後援 文部科学省、高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、NHK高知放送局ほか
- (7) 参加者数 650人
- (8) 一般来場者数 約1,500人
- (9) 内容 一般参加型のダンスタイムやエキシビジョンコンペ、ジルバコンテスト、アマチュアサークルやジュニアによるフォーメーション、一般演技発表、よさこいチャチャチャ、トッププロによるデモンストレーション、よさこい鳴子踊り、しばてん踊り、土佐和太鼓など多種多様な内容で行った。

2. 2011スーパージャパンカップ前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

- (1) 趣旨 一般参加型のダンスタイムにより、生活文化としてのダンスの活性化及び底辺拡大に貢献するとともに、国内でのボールルームダンスの認知及び普及・促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成23年3月4日(金)
- (3) 会場 幕張メッセ・イベントホール
- (4) 主催 財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (5) 主管 千葉・東京・神奈川・埼玉・栃木・群馬・茨城各都県アマチュア地域協会
- (6) 参加者数 約800人
- (7) 内容 一般参加型のダンスタイムを中心に、ダンス講習やトッププロと車いすダンスによるデモンストレーションなどを行った。

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「体験活動等」

■現寄附行為の(事業)第4条「(1) ボールルームダンス競技の普及及び指導」

1. 全国地域協会促進事業

- (1) 趣旨 各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、各地区での生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及・促進および底辺拡大に寄与する。また、そのイベント等に対し支援することにより、同時に地域協会の活性化を図る。
- (2) 開催期日 各都道府県地域協会により異なる。
- (3) 会場 各都道府県地域協会により異なる。
- (4) 内容 各都道府県地域協会において下記事業が企画・運営され、その事業に対し、費用の一部を事業金として支援した。

①北海道地域指導員協会

<p>a) 北海道地域指導員協会設立10周年記念パーティー 開催日:H22. 8. 28 会場:札幌エルプラザ 参加者数:約500名</p> <p>b) ダンスの日記念フェスティバルインサッポロ 開催日:H22. 11. 26 会場:北海道立体育館きたえる 参加者数:約600名</p>
<p>②福島県アマチュアダンス地域指導員協会</p> <p>a) 2010年ダンスマイライフ・フェスティバル in 福島チームマッチ 開催日:H22. 11. 21 会場:小野町町民体育館 参加者数:約600名</p>
<p>③栃木県アマチュア地域協会</p> <p>a) 第6回ダンスの日記念ダンスパーティー 開催日:H22. 11. 27 会場:宇都宮市体育館 参加者数:約400名</p>
<p>④茨城県アマチュア地域協会</p> <p>a) ダンスレッスン会&交流パーティー前期 開催日:H22. 5. 30 会場:水戸市内原アリーナ 参加者数:134名</p> <p>b) ダンスの日イベント in 茨城 開催日:H22. 10. 24 会場:茨城県県南生涯学習センター 参加者数:210名</p> <p>c) ダンスレッスン会&交流パーティー後期 開催日:H23. 2. 6 会場:牛久運動公園内・メインアリーナ 参加者数:187名</p>
<p>⑤千葉県アマチュア地域協会</p> <p>a) 親睦ふれあいダンスパーティー・技術講習会 開催日:H22. 10. 30 会場:松戸市・森のホール21 参加者数:220名</p> <p>b) 新春祝賀ダンスフェスティバル 開催日:H23. 1. 9 会場:蘇我勤労市民プラザ 参加者数:178名</p> <p>c) ダンス技術講習会&懇親ダンスパーティー 開催日:23. 2. 12 会場:市原市勤労会館 参加者数:87名</p>
<p>⑥東京都地域協会</p> <p>a) ダンスの日「夢の出会いはダンスから」 開催日:H22. 10. 9 会場:新宿コズミックスポーツセンター 参加者数:213名</p> <p>b) 北多摩ブロック講習会&ダンスパーティー 開催日:H22. 9. 18 会場:国分寺駅ビル・Lホール 参加者数:81名</p> <p>c) 南・西ブロック講習会&ダンスパーティー 開催日:H22. 4. 18 会場:世田谷区新代田区民集会所体育室 参加者数:132名</p>
<p>⑦神奈川県支局アマチュア地域協会</p> <p>a) 市民交流ダンスパーティー・横浜東支部 開催日:H22. 4. 24 会場:横浜市ほどがや地区センター 参加者数:158名</p> <p>b) 市民交流ダンスパーティー・横浜西支部 開催日:H22. 6. 26 会場:横浜市緑スポーツセンター 参加者数:437名</p> <p>c) 市民交流ダンスパーティー・湘南支部 開催日:H22. 6. 18 会場:茅ヶ崎市役所別館コミュニティーホール 参加者数:230名</p> <p>d) 地域指導員向け講習会 開催日:H22. 8. 28 会場:川崎市教育文化会館 参加者数:51名</p> <p>e) 市民交流ダンスパーティー・相模支部</p>

<p>開催日:H22. 9. 20 会場:大和市保健福祉センター 参加者数:215名 f)ダンスの日 in よこすか福祉チャリティ</p> <p>開催日:H22. 11. 6 会場:横須賀市立総合福祉会館 参加者数:221名 g)ダンスの日記念市民交流ダンスパーティー</p> <p>開催日:H22. 11. 13 会場:横浜市神奈川スポーツセンター 参加者数:192名</p>
<p>⑧新潟県アマチュアダンス地域指導員協会</p> <p>a)地域ダンス普及活動の推進および愛好者との親睦交流会 会場:上越勤労身体障がい者体育館 他</p>
<p>⑨長野県アマチュア地域協会</p> <p>a)地域ダンスフェスティバル 開催日:H22. 4. 29 会場:長野運動公園総合体育館 参加者数:約100名</p> <p>b)ダンスの日フェスティバル in 長野 開催日:H22. 10. 24 会場:長野運動公園総合体育館 参加者数:約200名</p>
<p>⑩石川県アマチュア地域協会</p> <p>a)石川県アマチュアスポーツダンスフェスティバル 開催日:H22. 8. 29 会場:石川県総合スポーツセンター 参加者数:約300名</p>
<p>⑪大阪府地域協会</p> <p>a)ブライアン・ワトソン氏のレクチャー 開催日:H22. 6. 19 会場:池田市五月山体育館 参加者数:1,200名</p> <p>b)ダンスの日のタベ 開催日:H22. 10. 30 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約500名</p> <p>c)クリスマス大舞踏会 開催日:H22. 12. 11 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約1,000名</p>
<p>⑫京都府アマチュア地域協会</p> <p>a)第15回ダンス技術講習会及びミニ・コンペ 開催日:H22. 11. 23 会場:(財)京都労働者総合会館・ラポール京都 参加者数:120名</p> <p>b)第16回ダンス技術講習会及びミニ・コンペ 開催日:H23. 2. 11 会場:(財)京都労働者総合会館・ラポール京都 参加者数:140名</p>
<p>⑬香川県地域指導員会</p> <p>a)市民交流ふれあい舞踏会 開催日:H23. 3. 21 会場:サンポートホール高松第1リハーサル室 参加者数:約200名</p>
<p>⑭長崎県ボールルームダンス地域指導員協会</p> <p>a)ミニダンスマイライフフェスティバル 開催日:H22. 9. 26 会場:長崎平和会館 参加者数:250名</p>
<p>⑮熊本県地域協会</p> <p>a)第1回ダンス技術講習会と交流ダンスパーティー 開催日:H22. 7. 25 会場:熊本市大江公民館 参加者数:80名</p>
<p>⑯宮崎県アマチュア地域指導員協会</p> <p>a)宮崎市民体育アマチュアダンス競技大会 開催日:H22. 10. 10 会場:宮崎市総合体育館 参加者数:約100名</p>

■その他

1. 会議関係

- (1) 運営委員会、部長会議、競技会企画推進部・競技ダンス普及促進部・競技部合同会議、全国競技部会議、全国渉外部会議、アンチ・ドーピング委員会をそれぞれ開催した。
- (2) 運営委員会内の各部（競技会企画推進部・競技ダンス普及促進部・競技部・事業部・広報宣伝部・渉外部・全国地域協会促進部・全国アスリート協会促進部・ダンスマイライフ推進部・普及促進部・ナショナルチーム選手育成部・ジュニアダンス開発部・コングレス推進部・事業開発部・マーケティング対策部・総務部・経理部）において、それぞれ関わりのある事業に向けての会議や活動を行った。

2. 関係競技会（総局・関係団体）

- (1) **2010年JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会
第60回全日本アマチュアダンス選手権大会**
 - ① 開催期日 平成22年10月16日（土）17日（日）
 - ② 場 所 日本ガイシスポーツプラザ第2競技場
 - ③ 主 管 財団法人日本ボールルームダンス連盟中部総局
- (2) **2011スーパージャパンカップダンス
全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会**
 - ① 開催期日 平成23年3月5日（土）・6日（日）
 - ② 場 所 幕張メッセ・イベントホール
 - ③ 主 管 財団法人日本ボールルームダンス連盟東部総局
- (3) **第11回プロフェッショナル統一全日本ダンス選手権大会**
 - ① 開催期日 平成22年11月3日（祝・水）
 - ② 場 所 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
 - ③ 主 催 日本プロダンス協議会（JNCPD）

II. 資格審議委員会事業

公益法人として一般社会への正しいボールルームダンスの普及に努めるため、ダンス指導者としての指導力の向上、競技会に於ける審査員・採点管理者の資格認定講習並びに考査を実施、それらに付随する教本、教材の研究を行うと同時に会員や連盟所属の認定教室の健全な育成、指導及び助言を行った。

21年度は、これらの事業を継続して行うと同時に、総局、支局、PDI協会等との連携をより密にし、また、21世紀のダンスを考える会の答申に沿って、一般社会に認められる優秀な指導者、厳正かつ權威のある審査員の認定と養成に努めた。

【公益目的事業】

■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「資格付与」

■ 現寄付行為の「(事業)第4条の(4)ボールルームダンスに関する指導員及び審査員の養成並びに認定制度の実施」

1. 資格認定事業

- (1) 趣 旨 不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認

定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする認定試験の開催

- (2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟 (JBDF)
- (3) 参加対象 ボールルームダンスを指導することに関心のある一般の方から、指導技術の向上を目指す会員。
- (4) 特記事項
- ①地域指導員 5 級～1 級の認定試験は全国 1 2 箇所にて開催され延べ 2 7 9 名の受験者があり、2 5 5 名が合格した。合格率は 9 1. 3 %になる。
 - ②商業スポーツ施設インストラクター 5 級～1 級認定試験を全国 1 4 箇所にて開催し、延べ 1 9 名の受験者があり、1 8 3 名が合格した。合格率は 8 3. 6 %になる。
 - ③講師・試験委員 3～1 級の認定試験を 1 1 箇所で行い 9 4 名を認定した。採点管理者認定試験を全国 5 箇所にて実施し、1 次試験 6 2 名受験合格者 6 2 名、2 次試験 3 5 名受験合格者 3 3 名となった。
- (5) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数・実施会場・責任者は、別紙①の表を参照。

2. プロ・ダンス・インストラクター試験事業

- (1) 趣 旨 国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に 2 回国家公安委員会指導の下全国 9 ブロックにおいて開催する事業。
- (2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟 (JBDF)
- (3) 参加対象 プロ・ダンス・インストラクター資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方
- (4) 特記事項 平成 22 年度は第 23 回が 4 月 23 日 (金) と、第 24 回が 10 月 22 日 (金) に開催された。第 23 回が受験者数 119 名で合格者 98 名。第 24 回が受験者数 145 名で合格者 130 名。年間の受験者 264 名で合格者 228 名であったので、合格率は約 86.4 % だった。なお、認定試験の受験者はいなかった。
- (5) 日程・開催地区・講習会場・試験会場・受験者数は、別紙②の表を参照。

■ 公益財団法人認定に係る事業区分：「講座、セミナー、育成」

■ 現寄付行為の「(事業) 第 4 条の (6) ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

1. 定期研修会事業

- (1) 趣 旨 アマチュア地域指導員及び、プロ商業スポーツ施設インストラクターの会員に、年に 1 回最新の技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指す。
- (2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟 (JBDF)
- (3) 参加対象 会員
- (4) 特記事項 平成 22 年度はスタンダードはタンゴ、ラテンアメリカンはジャイブを指定種目とし、サマーセミナーで発表されたステップを中心の講習がなされた。
- (5) 日程・開催地区・会場・開催時間は、別紙③の表を参照。

2. サマーセミナー事業

— スポーツ振興基金助成額：1,000,000 円 —

- (1) 趣 旨 指導者を育成する為の講師・試験委員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指している。
- (2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟 (JBDF)
- (3) 参加対象 会員・不特定多数の一般の方
- (4) 期 日 平成 22 年 7 月 22 日(木) 10 : 30~19 : 00
23 日(金) 10 : 00~16 : 00
- (5) 会 場 ティアラこうとう「大ホール」
東京都江東区住吉 2-28-36
- (6) 11 回サマーセミナー実行委員会
実行委員長 守田頼定 (常務理事・資格審議委員会委員長)
副実行委員長 村澤武志 (指導者資格認定委員会委員長)
松浦孝俊 (採点管理委員会委員長)
実行委員 内田芳昭 (理事、全国審査委員会委員長)、山口慶子 (教材出版委員会委員長)、鈴木美代子 (講師・試験委員会委員長)、浅野ツキ子 (競技実績認定委員会委員長)、杉原孝 (会員管理委員会委員長)、宮岡光秋 (チェッカー認定委員会委員長)
- (7) 特記事項 平成 22 年度に開催された第 11 回のサマーセミナーには 2 日間で 1,328 名の会員及び一般の方の参加があった。スタンダードはタンゴを中心に講習を行い、ラテンはジャイブを中心に行った。また、今回も「魅力的なダンス講師とは」というタイトルで、フリーの接遇インストラクターの飯野ひろみ先生をお招きして、接客のマナーや話し方についての講習を行い好評であった。

Ⅲ. 国際関係事業

【公益目的事業】

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「調査、資料収集」

■現寄付行為の「(事業) 第4条(7) ボールルームダンス競技会を代表してボールルームダンスの国際組織への加盟」(8)「ボールルームダンス競技の国際的競技会等への選手・役員等の派遣」(9)「ボールルームダンスに関する調査及び研究」

1. 国際渉外事業

- (1) 目的 常務理事会の諮問機関として国際委員会が設置され、国際問題や国際競技会等の情報収集、調査、研究を行うことを目的とする。
- (2) 内容 本連盟はJNCPD(国内3プロ団体で構成)を通して国際組織(WDC)へ加盟しており、世界選手権への出場、審査員派遣、国際会議への出席、国際関係の情報収集も行っており、また、それとは別にBDFIの国内窓口として英国のダンス事情等の把握に努めている。また、それら組織の他に本連盟の会員等を通して独自の情報収集ならびに調査を国際委員会、JNCPD、BDFI各担当役員が事務局国際部との協力のもと進めていく。また、昨年、新たに本連盟に団体加盟したボールルームダンスジャパン(BDJ)との情報交換等を行っていく。

①WDC 関係

1. 各種登録業務

2010年WDC国際ナショナルライセンス — 審査員

国際競技会の審査員を務める際に必要となるライセンスであるため、全国のA級審査員を対象に申請希望者を募集したところ、平成22年度は新規希望者が27名、更新希望者が111名、合計138名が申請した。

2010年WDC国際ナショナルライセンス — 選手

国際競技会に出場する際に必要となるライセンスであるため、全国のプロ選手会に所属する選手を対象に申請希望者を募集したところ、平成22年度は新規希望者が47名、更新希望者が379名、合計426名が申請した。

2. 会議関連業務

5月/6月にブラックプールで開催された総会および各種委員会の資料準備と報告書作成を行った。なお、2010年の総会および各種委員会のJBDF出席者は以下の通りである。

会議名称	日付	JBDF代表者	
年次総会	6月3日	篠田 忠	菊池(事務局)
ダンススポーツ委員会	5月31日	篠田 忠	菊池(事務局)
ソーシャルダンス委員会	6月2日	村澤 武	菊池(事務局)
アジア太平洋協議会	6月1日	篠田 忠	菊池(事務局)

3. 日本プロダンス協議会(JNCPD)から依頼を受けた通信業務

世界選手権に派遣されるJBDF審査員および選手に関連した必要書類の

手続きや、年間を通じて一般的な通信業務の翻訳補助を行った。
 なお、2010年の各種世界選手権大会に出場したJBDF選手／審査員は以下の通りである。

大会名称	日付	開催地	派遣審査員
世界スタンダード選手権	10月2日	カナダ	篠田 忠

大会名称	日付	開催地	派遣選手
ラテン ショーダンス	5月1日	デンマーク	織田組 西島組
スタンダード選手権	10月2日	カナダ	河原組
ラテン選手権	11月20日	ドイツ	織田組
ホールルーム ショーダンス	12月18日	ドイツ	青木組
10ダンス	12月26日	ウクライナ	臼井組

4. BDFI 5月／6月に英国ブラックプールで開催された総会および国際理事会の資料準備、会議通訳、議事録翻訳などを行った。
 国内の会員管理として会費の徴収、BDFI 本部（英国）への送金、会員カードの送付などを行った。なお、2010年のBDFI国内会員数は84名であった。

5. ブラックプール関連業務

- ・チケット申込 JBDF 選手および関係者のチケットを合計 262 枚手配し、選手に対しては全国プロ選手会を通じて、また、その他の関係者の方々には直接チケットを送付した。
 なお、2010年は最終的に席付のチケットが9枚キャンセルになったため、それらは事前に主催者側に返却し、その分のチケット代を返金してもらった。
- ・出場申込 2010年は、プロ79組が出場の申込を行った。

②外国人招聘業務

1. JBDF 総局からの依頼

JBDF 本部から6件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。

2. JBDF 加盟団体

東部総局から15件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。

③その他

ホームページ英語版の編集および管理 — JBDF 4 大会の予定、シラバス（日本インターのみ）、結果、ならびに海外主要競技会の予定を、それぞれ作成、掲載した。（日本語版・英語版）

海外のイベントに係わる事務全般 — 海外の主要競技会の案内やシラバスの翻訳、関連通信、JBDF の広告掲載手続などを行った。

情報収集 — 海外のダンス関連新聞、雑誌、ホームページに掲載されている重要案件を翻訳し、常務理事会、専務理事、運営委員会正副委員長に報告した。

ジュニア関連の国内規定等見直しの為、英国 BDC (British Dance Council) のルールブック、及び IDSF 競技規定の該当部分を翻訳した。

IV. 広報関係事業

【公益目的事業】

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「広報、調査研究」

■現寄付行為の「(事業) 第4条(9) ボールルームダンスに関する調査・研究」「(事業) 第4条(11) ボールルームダンスに関する出版物の刊行」

1. 広報宣伝事業

1. 機関誌発行

(1) 目的

本連盟が平成22年度に行うさまざまな諸事業に関してその情報を全国に所在する本連盟会員に伝え、事業への理解、参加を促し、会員の連携強化を図る。併せて一般のダンス愛好者と一般社会へボールルームダンスの魅力、本連盟の活動を広報し本連盟が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。

(2) 配布対象

本連盟会員に加え、関係企業、一般のダンス愛好者、本連盟が開催する指導者講習会参加者(学校教員)など。

(3) 発行回数と部数

計画通りに年3回の発行を行った。

65号：5/1発行 13,700部

66号：9/1発行 13,600部

67号：12/22発行 13,500部

2. ホームページ管理

(1) 目的 タイムリーに情報更新を行い、本連盟の活動とボールルームダンスの魅力を知り広げる。また、事業計画や収支計算報告などの情報公開の窓口として活用する。

(2) 内容 ① J B D F の設立目的や役員名、組織図や事業計画、事業報告、予算・決算書など組織概要の紹介(日本語と一部英語)。5 総局へのリンク、支局・協会一覧。
② 運営委員会が行う様々な普及イベントや競技会の情報、資格審議委員会が管轄する講座やセミナー、試験等の実施要項など。
③ 21 世紀ダンス文化普及振興室が進める学校キャラバン隊など、学校教育へのダンス普及の取組みの紹介。
④ 全国の本連盟認可ダンススクールの一覧情報。
⑤ 資格認定試験のための各種教材と普及活動での使用を想定した著作権フリーのダンス音楽 CD 等のネット販売。

2. ダンス資料保存収集事業

1. 資料室管理

(1) 目的 日本のダンス界が次世代へ残す共有の財産という位置づけで、ボール

ルームダンスとそれに関連する音楽やスポーツ科学等の書籍並びに映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。

(2) 対象、閲覧要項 本連盟会員及び一般。利用は無料。閲覧時間：平日午前10時～午後6時。

(3) 収蔵内容

- ・日本はじめ英国などのダンスの解説書（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）
- ・ダンス雑誌（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）
- ・ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、ジャンルダンスの書籍
- ・ダンス音楽及びダンス映像等
- ・競技会プログラム、引退パーティプログラム
- ・学校体育教育に関する専門書（青柳文庫）
- ・身体科学、スポーツ医学書（青柳文庫）
- ・書籍約500冊、雑誌約1100冊。

V. 21世紀ダンス文化普及振興事業

【基本方針】

平成13年9月の答申「21世紀のボールルームダンス文化の構築と振興のあり方について」の答申をうけて、公益財団法人への移行を念頭におき、公益目的事業としての先導的な研究・開発・実践に取り組みダンス文化の浸透を図る。

さらに、文部科学省では新学習指導要領が改訂され、平成24年4月から中学校の体育の授業に「ダンス・武道」が男女共修で必修となるとともに、平成21年度から当連盟が行う教員対象の講習会が文部科学省の「教員免許状更新講習」として認定されたこともあり、行政、関係機関、団体及び当連盟の地域組織との連携・協力を図り、学校へのボールルームダンスの導入の促進のほか国民に裾野を広げるなど国民文化として根付かせる土壌を醸成し、その環境づくりを通してールームダンスの普及・振興に資する。

I 指導者養成事業

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「講座、セミナー、育成」

■寄付行為の「(事業)第4条の(6)ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

1. 平成22年度JBDFはじめてのボールルームダンス（社交ダンス）指導者養成講習会 ～「子どもゆめ基金助成活動」・文部科学省認定「教員免許状更新講習」～

(1) 趣 旨

学校教育及び「放課後子ども教室」、「学校支援地域本部事業」、「地域スポーツクラブ」等の社会教育で、学社連携による教育の場において多くの子ども達にボールルームダンスによる楽しい学びを体験させ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て、心身の健全な発達の助長を図るとともに、青少年から大人まで、その裾野を広げるボールルームダンスの指導者の養成を図る。

(2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟（JBDF）

(3) 後 援 文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、青森県教育委員会、青森市教育委員会、東京都教育委員会、中央区教育委員会、三重県教育委員会、三重

市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、池田市市教育委員会、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会

(4) 参加対象 青少年教育指導者、レクリエーション指導者、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校の教員、大学生及び青少年のボールルームダンス指導に関心のある大人

(5) 子どもゆめ基金助成事業

独立行政法人国立青少年教育振興機構から 7,059,000円の助成金を受けて実施した。

(6) 特記事項

本講習会は免許状更新講習として認定を受けているので、平成23年3月31日及び平成24年3月31日を最初の修了確認期限とする小学校教員、中・高等学校の保健体育教員

の中で希望する者には、講習受講により履修認定を受けた場合に免許状更新講習（選択領域18時間以上）の履修証明書を発行する。

(7) 開催地区・開催地・期・開催期日・開催会場・講師・参加者数は次頁表を参照。

—子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動—
 平成22年度JBDFはじめてのボールルームダンス指導者養成講習会
 —文部科学省「教員免許状更新講習」認定—

開催地区	開催地	期	講習の期間	開催会場	担当講師	参加者数			
						教員免許更新者	学校教員	一般	合計
北海道地区	北海道札幌市	第1期	8月12日(木)～13日(金)	NTT北海道セミナーセンタ 体育館	講義 笠原一也 実技 松村有希子 補助 堀口宏 清水 博文	18	3	7	28
		第2期	11月6日(土)～7日(日)	リフレサッポロライラックホール	講義 佐伯年詩雄 実技 石塚紀子 補助 村田恭子 清水 博文	17	4	8	29
東北地区	青森県青森市	第1期	8月9日(月)～10日(火)	観光物産館アスパム	講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 補助 堀口宏 増田奈々	4	6	15	25
		第2期	11月27日(土)～28日(日)		講義 笠原一也 実技 堀口宏 補助 島輝子 増田奈々	4	4	12	20
関東地区	東京都中央区	第1期	8月1日(日)～2日(月)	中央区立総合スポーツセンター	講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 堀口宏 堀口さと子 石塚紀子 補助 島輝子 菅原真由 大島寿子	16	32	40	88
		第2期	12月11日(土)～12日(日)		講義 笠原一也 実技 松村有希子 堀口宏 堀口さと子 石塚紀子 補助 島輝子 菅原真由 大島寿子	17	22	31	70
中部地区	三重県津市	第1期	8月5日(木)～6日(金)	三重県総合文化センター	講義 佐伯年詩雄 実技 堀口宏 補助 石塚紀子 廣田真千子	9	12	13	34
		第2期	10月23日(土)～24日(日)		講義 笠原一也 実技 堀口宏 補助 堀口さと子 廣田真千子	9	8	16	33
近畿・中国・四国地区	大阪府大阪市	第1期	8月23日(月)～24日(火)	ホテルメトロThe21	講義 笠原一也 実技 松村有希子 補助 青黒誠 山本 陽子	17	10	9	36
	大阪府池田市	第2期	12月4日(土)～5日(日)	五月山体育館	講義 佐伯年詩雄 実技 堀口宏 補助 村田恭子 山本 陽子	17	4	10	31
九州地区	熊本県熊本市	第1期	8月26日(木)～27日(金)	熊本県労働会館	講義 笠原一也 実技 堀口宏 補助 村田恭子 青山照子	9	5	15	29
		第2期	10月30日(土)～31日(日)		講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 補助 青黒誠 青山照子	9	1	13	23
(定員420人)						146	111	189	446

※【文部科学省の「教員免許状更新講習」のについて】

文部科学省が平成 21 年度から教員免許更新制度を導入し、「その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指す」ことを目的に実施されるものである。

この「教員免許状更新講習」に財団法人日本ボールルームが、平成 21 年度から全国 6 地区で実施する「JBDF はじめてのボールルームダンス（社交ダンス）指導者養成講習会」が認定されて実施した。この教員免許状更新講習の認定を受けたことは、公教育の学校教育に導入され全国の幼・小・中・高等学校及び特別支援学校等において、JBDF の本講習の指導内容及び指導方法が全国共通のものとして展開されていくことになる。

したがって、当連盟にとって大変意義のあることであり、その重要性和責任を改めて認識する必要がある。さらに、当連盟が公益法人のスポーツ団体として一番最初に認定を受けたことは、他のスポーツ団体に対しても模範的な立場にあることを考慮することも必要である。

※次頁に平成 22 年度の「教員免許状更新講習」の文部科学大臣の認定通知文を添付してあります。



21文科初第754号

財団法人日本ボールルームダンス連盟

貴法人から申請のあった免許状更新講習について、別紙のとおり認定し、通知する。

なお、当該講習の開設に当たっては、免許状更新講習規則及び平成20年文部科学省告示第50号の規定に留意の上、遺漏のないよう実施するとともに、当該講習の終了後、その運営状況、効果等について評価を行い、当該評価結果について報告すること。

平成22年3月16日

文 部 科 学 大 臣

川 端 達 夫



2. 学校学習支援指導者講習会

(1) 学校学習支援指導者講習会

①趣 旨

文部科学省の新学習指導要領では、平成24年4月から中学校の体育の授業で「ダンスと武道」を男女共修で必修にすることとなりました。子ども達に「生涯楽しめる運動を見つけさせる」ものとしております。学校におけるボールルームダンスは、子どもたちが生涯を通じて運動やスポーツに楽しむ基礎となるように推進するとともに、ボールルームダンスの持つ潜在的な教育的適性を知らしめるための良い機会であります。本講習会は多くの子ども達がボールルームダンスを楽しく学ぶことができるようにするため、児童・生徒への集団指導に適した指導法の統一を図ることを目的に、学校教育におけるボールルームダンスの指導法の講習を行う。

②主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟

③日 時 平成23年1月24日（月）9：30～16：30

④会 場 中央区立総合スポーツセンター

⑤対 象 プロのダンス教師

⑥参加数 20人

⑦内 容

- ・講 義「学校教育でボールルームダンスを採り上げるにあたって」
講 師 笠原一也（前国立スポーツ科学センター センター長 JBDF 常務理事・学校学習創造支援プロジェクト委員会学識委員）
- ・実 技「指導法」
（種目）ブルース、ジルバ、ワルツ、チャチャチャ、クイックステップ、タンゴ、ルンバ、サンバのリズム・エクササイズ
講 師 松村有希子（学校学習創造支援プロジェクト委員会委員長）
堀口 宏（学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長）

(2) 中部総局学校学習支援プロ指導者講習会

- ①趣 旨 文部科学省の新学習指導要領では、平成24年4月から中学校の体育の授業で「ダンスと武道」が男女共修で必修することとなった。学校におけるボールルームダンスは、子ども達が生涯を通じて運動やスポーツに楽しむ基礎となるように推進するとともに、ボールルームダンスの持つ潜在的な教育的適性を知らしめるためのまたと無い機会であるが、「公の教育である学校教育」でボールルームダンスを指導していただくためには、全国の全ての学校において同じ技術と指導法が展開されなければならないことから、プロの教師を対象に全国統一した技術及び指導法についての講習会を実施する。

②主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟

③実 施 財団法人日本ボールルームダンス連盟中部総局（東海・北陸地区）

④対 象 JBDF の正会員及び登録会員で、中部総局各県（愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、福井県、石川県、富山県）支局に所属する学校学習に強い関心を持つプロのボールルームダンスの教師

II 研究開発事業

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「研究開発」

■寄付行為の「(事業)第4条の(9)ボールルームダンスに関する調査及び研究」

1. 学校学習創造支援プロジェクト委員会

ボールルームダンスを国民文化として根づかせるためには、学校教育の正課の授業の教科として採り上げられることにより、一層認識が高まることから行政・学校へのかかわりを積極的に推進する必要がある。

なお、高等学校の新学習指導要領の保健体育には「社交ダンス」という名称で取り扱われているが、将来小・中学校の学習指導要領にボールルームダンスが取り上げられるようになることが重要である。

その為にも授業化研究モデル校と連携し学校学習授業化研究及び開発の実践授業を通して学校現場に適した指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究・開発・実践を通して広く指導者養成に努める。

【学校学習創造支援プロジェクト委員会委員】

- ・委員 長：松村有希子
- ・副委員長：堀口 宏
- ・学識委員：笠原一也、佐伯年詩雄、阿部武洋、島田左一郎
- ・連盟委員：村澤武志、堀口さと子、石塚紀子、背黒 誠、島 輝子、村田恭子

(1) 学校学習創造支援指導教材の研究開発及び作成

学校教員が児童・生徒にボールルームダンスを指導するときの教師用指導書及び児童・生徒が個人学習あるいはグループ学習の際に役立つものとするため、これまでの実践・研究の積み重ねの成果を基に作成したものである。

- ア. 総論指導書（はじめてのボールルームダンス～学習指導の手引き～）の作成
- イ. 実技解説指導書（はじめてのボールルームダンス（社交ダンス））の作成
- ウ. 「ボールルームダンスの授業化研究事例集」の作成

平成14年からボールルームダンスの授業化研究に取り組んだ下記の研究モデル校の実践研究事例としてまとめた。

- ①平成14年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校（1校）
- ②平成15年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校、京都教育大学教育学部附属京都小学校、京都市立朱雀第一小学校（3校）
- ③平成16年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校、京都教育大学教育学部附属京都小学校、京都市立朱雀第一小学校（3校）
- ④平成17年度 京都市立朱雀第一小学校、長野市立広徳中学校、長野市立更北中学校、長野市立加茂小学校（4校）
- ⑤平成18年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、長野市立更北中学校、長野市立櫻ヶ岡中学校、長野市立山王小学校、長野市立柳原小学校（6校）
- ⑥平成19年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、長野市立広徳中学校、長野市立山王小学校、長野市立柳原小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校、和歌山市立岡崎小学校（8校）
- ⑦平成20年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、北海道八雲町立落部中学校、北海道知内町立知内中学校、長野市立広徳中学校、長野市立山王小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校（8校）
- ⑧平成21年度 北海道北斗市立浜分小学校、長野市立櫻ヶ岡中学校、長野市立山王小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校、和歌山市立有功東小学校、大阪府立吹田高等学校（7校）
- ⑨平成22年度 長野市立須坂小学校、長野市立豊洲小学校、大阪府立吹田高等学校、

小田原市立富水小学校、京都市立藤ノ森小学校（5校）

※延べ研究校数：45校

(2) 学校学習授業化研究モデル校との共同研究及び実践の概要

学校名	期 日	学 年	人 数	指導講師
京都市立藤ノ森小学校	平成22年9月10日(金)	4年生	39人	佐伯年詩雄 堀口 宏 伊藤ともえ (京都府支局)
京都市立藤ノ森小学校 (英国からの教育視察団 25名参加)	平成22年10月19日(月)	4年生	39人	佐伯年詩雄 堀口 宏 伊藤ともえ (京都府支局)
長野市立須坂小学校	平成22年10月26日(月)	5年生	36人	佐伯年詩雄 石塚 紀子 島田左一郎
大阪府立吹田高等学校	平成22年11月8日(月)	3年生	28人	山本 陽子 (大阪府支局)
長野市立須坂小学校	平成22年11月9日(火)	5年生	36人	佐伯年詩雄 村澤 武志
長野市立豊洲小学校		6年生	21人	島田左一郎
長野市立豊洲小学校	平成22年11月17日(水)	6年生	21人	佐伯年詩雄 石塚 紀子 島田左一郎
大阪府立吹田高等学校	平成22年11月29日(月)	3年生	28人	佐伯年詩雄 山本 陽子 (大阪府支局)
大阪府立吹田高等学校	平成22年12月3日(金)	3年生	25人	堀口 宏
小田原市立富水小学校	平成22年12月7日(火)	4年生	30人	笠原 一也 佐伯年詩雄 松村有希子 石塚 紀子
小田原市立富水小学校	平成22年12月21日(火)	4年生	30人	笠原 一也 佐伯年詩雄 石塚 紀子

(3) 平成22年度都道府県支局学校学習創造支援プロジェクト担当責任者全国会議

①趣 旨

本会議は、学校学習創造支援プロジェクト委員会において、実践研究の積み上げにより開発した教材の成果物を活用し、それぞれの地域において学校の授業にボールルームダンスを採り上げられる方策について研究協議を行うとともに、学校への導入を実現するための取組の指針とするものである。

【第1回会議】

- ①日 時 平成22年6月11日(金) 14:00~16:30
- ②会 場 中央区立総合スポーツセンター 第1・第2会議室
- ③参加数 38人

④講 話

(1) 生涯スポーツとダンス

講師 笠原 一也(前国立スポーツ科学センター センター長・JBDF 常務理事)

(2) 支局担当責任者にお願いすること

講師 佐伯年詩雄(学校法人タイケン学園スーパーバイザー・JBDF 理事)

⑤協 議 都道府県支局における「学校学習創造支援の現況」と今後の対策について

【第2回会議】

①日 時 平成23年3月4日(金) 13:30~16:00

②会 場 幕張メッセ国際会議場 3階 301B

③参加数 37人

④講 話

(1) 国のスポーツ政策について

講師 笠原 一也(前国立スポーツ科学センターセンター長・JBDF 常務理事)

(2) これからの学校学習ボールルームダンス

講師 佐伯年詩雄(学校法人タイケン学園スーパーバイザー・JBDF 理事)

⑤協議題 ボールルームダンスを学校教育へ普及するための支局の取組みについて
～意見交換～

Ⅲ 体験活動・講習等事業

■公益財団法人認定に係わる事業区分：「体験活動等」

■寄付行為の「(事業)第4条の(6) ボールルームダンスに関する研修会、講習会の開催」

1. 学校キャラバン隊

(1) 趣 旨

ボールルームダンス(社交ダンス)を生涯スポーツの基礎として、学校学習に普及・振興を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「豊かさ」、「長年培われたマナー」が総合された、世界共通の文化であるボールルームダンスの実際の踊りを見学・学習し、学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として学校へアスリートを派遣する。

(2) 主 催 財団法人日本ボールルームダンス連盟

(3) SSF スポーツエイド助成事業

笹川スポーツ財団のSSF スポーツエイドから 1,000,000円の助成金を受けて実施した。

(4) 期 間 平成22年9月1日(水)~平成23年3月31日(木)

(5) 実施校 今年度は9校にキャラバン隊を派遣した。その概要は以下のとおりである。

【実施校】

(1) 京都市立藤ノ森小学校

①日 時 平成22年10月1日(金) 14:00分~15:00分(60分)

②場 所 京都市立藤ノ森小学校体育館

住所：〒612-0045 京都府京都市伏見区深草石橋町11-2

電話：075-641-6305 FAX：075-641-7135

③対象学年及び人数

※小学4年生 116人(男子62人、女子54人)

※小学3学年・小学5学年 ラテンデモンストレーション見学 220人

※教員 3 人

※京都支局協力者 6 人

合計 345 人

- ④講 師 松村有希子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員長)
堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)
- ⑤アスリート 市川 学 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)
大島 寿子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(2) 長野県須坂市立高甫小学校

- ①日 時 平成 22 年 10 月 5 日 (火) 13 : 50 分～14 : 50 分 (60 分)
- ②場 所 須坂市立高甫小学校体育館
住所 : 〒382-0044 長野県須坂市大字八町 1916
電話 : 026-245-0593 FAX : 026-246-5164

③対象学年及び人数

※全学年 194 人 (男子 94 人、女子 100 人)

※教員 16 人

※他校見学生徒 須坂市立豊洲小学校 第 6 学年 20 人 教員 1 人

※長野県支局協力者 13 人 (全員プロ教師)

※長野文化女子大学 島田左一郎先生

合計 245 人

- ④講 師 松村有希子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員長)
堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)
- ⑤アスリート 市川 学 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)
大島 寿子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(3) 東京都江東区立砂町小学校

- ①日 時 平成 22 年 10 月 27 日 (水) 10 : 50 分～12 : 10 分 (80 分)
- ②場 所 江東区立砂町小学校体育館
住所 : 〒136-0073 東京都江東区北砂 4 丁目 13 番 23 号
電話 : 03-3644-0703 FAX : 03-3690-4018

③対象学年及び人数

※第 1 学年・第 2 学年 177 人 (男子 91 人、女子 86 人)

※教員 6 人

※保護者 57 人

※他の関係者 3 人

合計 243 人

- ④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)
島 輝子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)
- ⑤アスリート 中村 俊彦 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)
青柳 朋子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(4) 山形県酒田市立松原小学校

- ①日 時 平成 22 年 11 月 5 日 (金) 13 : 50 分～14 : 50 分 (60 分)
- ②場 所 酒田市立松原小学校体育館
住所 : 〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎 5 丁目 8 番 25 号
電話 : 0234-23-8080 FAX : 0234-26-6059

③対象学年及び人数

※第 5 学年・第 6 学年 185 人 (男子 107 人、女子 78 人)

※教員 10 人

※山形県支局 41 人

合計 236 人

- ④講 師 村澤 武志 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

島 輝子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 大村 淳毅 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

和田 恵 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(5) 岡山県美咲町立柵原中学校

①日 時 平成 22 年 11 月 10 日 (水) 13:50 分~15:00 分 (70 分)

②場 所 美咲町立柵原中学校体育館

住所: 〒708-1515 岡山県久米郡美咲町下谷 388-2

電話: 0868-62-0882 FAX: 0868-62-0510

③対象学年及び人数

※全学年 137 人 (男子 71 人、女子 66 人)

※教員 10 人

※保護者 50 人

※岡山県支局 2 人、鳥取県支局 12 人

合計 211 人

④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

村田 恭子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 中村 俊彦 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

青柳 朋子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(6) 東京都八王子市立ひよどり山中学

①日 時 平成 22 年 11 月 11 日 (木) 9:45 分~11:00 分 (75 分)

②場 所 八王子市立ひよどり山中学校体育館

住所: 〒192-0043 東京都八王子市暁町 3 丁目 1 番 1 号

電話: 042-625-6431 FAX: 042-627-9421

③対象学年及び人数

※第 1 学年・第 2 学年 182 人 (男子 105 人、女子 77 人)

※教員 10 人

※保護者 20 人

合計 212 人

④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

村田 恭子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 嶺岸 昭志 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

嶺岸 恭子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(7) 岐阜県郡上市立白鳥小学校

①日 時 平成 22 年 11 月 12 日 (金) 13:30 分~15:00 分 (90 分)

②場 所 岐阜県郡上市立白鳥小学校体育館

住所: 〒501-5121 岐阜県郡上市白鳥町白鳥 10 番地 2

電話: 0575-82-3144 FAX: 0575-83-0046

③対象学年及び人数

※全学年 338 人 (男子 172 人、女子 166 人)

※教員 20 人

※OB 中学生 8 人

※保護者 30 人

※岐阜県支局 10 人、地元ダンス支援者 10 人

合計 416 人

④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

石塚 紀子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 嶺岸 昭志 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

嶺岸 恭子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(8) 千葉県船橋市立海神中学校

①日 時 平成 22 年 11 月 17 日 (水) 11 : 20 分～12 : 10 分 (50 分)

②場 所 船橋市立海神中学校体育館

住所 : 〒273-0021 千葉県船橋市海神 4-27-1

電話 : 047-431-3074 FAX : 047-431-3075

③対象学年及び人数

※第 1 学年 220 人 (男子 121 人、女子 99 人)

※教員 30 人

※保護者 30 人

合計 280 人

④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

堀口さと子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 中村 俊彦 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

青柳 朋子 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

(9) 大阪府立吹田高等学校

①日 時 平成 23 年 1 月 13 日 (木) 13 : 15 分～14 : 05 分 (50 分)

②場 所 大阪府立吹田高等学校体育館

住所 : 〒564-0004 大阪府吹田市原町 4 丁目 24 番 14 号

電話 : 06-6387-6651 FAX : 06-6387-6567

③対象学年及び人数

※第 3 学年 290 人 (男子 146 人、女子 144 人)、

※教員 10 人

※大阪府支局 6 人

合計 306 人

④講 師 堀口 宏 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

石塚 紀子 (JBDF 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

⑤アスリート 大村 淳毅 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

和田 恵 (JBDF 学校キャラバン隊アスリート)

合計 実施校数 9 校 参加者総数 2,494 人

(10) 特記事項

今年度は、実施校の府県の支局の多くのプロの先生方の協力があった。

2. 行政・学校・団体等との連携協力事業

(1) 行政との連携・協力

ア. 三重県教育委員会平成 22 年度三重県教員免許状更新講習第 1 回連絡協議会

①趣 旨 三重県内の学校教育力の向上を目指す。

②主 催 三重県教員免許状更新講習連絡協議会

③期 日 平成 22 年 6 月 9 日 (水) 10 : 00～12 : 00

④会 場 国立大学法人三重大学

⑤議 題 大学・団体等の取り組み状況について

⑥出席者 小久保博史 (中部総局副局長)、齋藤忠八

イ. 静岡県中学校ダンス・武道必修化に向けた地域連携指導実践校伝達講習会

①趣 旨 平成 24 年 4 月から中学校の保健体育の授業で「ダンス・武道」が男女共修で必修化

になるため、静岡県の保健体育教員の伝達講習にボールルームダンスの実技と指

導法

の講習を実施する。

②主 催 静岡県教育委員会学校教育課

③日時・会場・参加数

・平成 22 年 8 月 4 日（水）15：00～15：30

清水町立南中学校体育館 73 人

磐田市立磐田第 1 中学校体育館 44 人

・平成 22 年 8 月 5 日（木）15：00～15：30

磐田市立磐田第 1 中学校体育館 44 人

④対 象 静岡県の保健体育教員の中堅

⑤内 容 チャチャチャ

⑧講 師 渡辺 公靖（静岡県学校学習創造支援プロジェクト担当責任者）

小松 唯宏（静岡県県支局）、渡辺加予美（静岡県県支局）

岡 正明（静岡県県支局）、望月 隆紀（静岡県県支局）

（2）学校との連携・協力

ア. 鎌倉女学院高等部

イ. 東京学芸大学附属大泉小学校

ウ. 北海道函館市立大野小学校・大野中学校

エ. 長野県松本市立開智小学校

（3）団体との連携・協力

ア. 長野県ダンス研究部会「上高井体育同好会ボールルームダンス研修会」

イ. 北海道学校体育研究大会渡島大会

ウ. 第 55 回全国体育学習研究協議会（京都大会）

エ. 北海道渡島体育研究集会

オ. 土浦市教育研究会体育・保健体育研究部研修会

カ. 和歌山市小学校体育研究会

3. 2009「ダンスの日」の事業

（1）趣 旨

平成 16 年度から「ダンスの日」を提唱し、毎年 11 月 29 日を「ダンスの日」として設定し、ボールルームダンス関係団体及び他のダンス団体と連携し、全国展開を通じてボールルームダンスを多くの人々に浸透させ生涯スポーツ、国民文化として根付かせるために老若男女を対象にダンスを楽しんでもらう機会をつくり、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」楽しめるボールルームダンスの普及・振興を図り裾野を広げるとともに、地域におけるダンス文化の活性化の推進に資する。

（2）「ダンスの日」プロジェクト委員会委員

・委員 長 内田芳昭（理事・資格審議委員会副委員長）

・副委員長 北條章宏（運営委員会全国アスリート協会促進部長）

・学識委員 大宅尚武（学識評議員）、中村優子（学識評議員）

・連盟委員 酒井文男（専務理事補佐）、森下 博（北海道総局副理事長）、荒井 清（東部総局副部長）、内田通洋（東部総局企画事業部長）、坂本昭次郎（中部総局副局長）、笠矢尚嗣（西部総局運営委員広報部）、青木信之助（九州総局副局長兼競技部長）、小林 清（東京都支局理事）、大平政憲（岩手県支局長）、松本善一

(栃木県アマチュア地域協会長)、森尻隆治(群馬県アマチュア地域協会長)、駒 昭幸(埼玉県アマチュア地域協会長)、坂元正一(茨城県アマチュア地域協会長)、大竹 功(千葉県アマチュア地域協会長)、高野やえ子(東京都アマチュア地域協会長)、吉川恒孝(神奈川県アマチュア地域協会長)

計 20 人

(3) 「ダンスの日」の参加者年次推移

年度	認定教室 実施総数	認定教室参 加者総数	都道府県会場実施 県及び実施会場数	都道府県会場 参加者総数	参加者総数
2004年	86 教室	1,504 人	0	0	1,504 人
2005年	160 教室	2,809 人	18 都道府県 23 会場	2,761 人	5,570 人
2006年	82 教室	2,760 人	20 都道府県 29 会場	3,862 人	6,622 人
2007年	76 教室	2,185 人	24 都道府県 35 会場	11,522 人	13,615 人
2008年	46 教室	867 人	29 都道府県 40 会場	13,925 人	14,792 人
2009年	45 教室	1,135 人	29 都道府県 36 会場	11,142 人	12,277 人
2010年	47 教室	1,396 人	33 都道府県 39 会場	12,252 人	13,648 人

IV その他

1. 公益目的事業実施のための助成金等の申請と確保状況について

公的機関等から助成金を受けることは公益法人としての社会的信用度が高まり経営の安定につながるるとともに公益目的事業としての位置づけがより明確になる。

(1) 財団法人地域活性化センター、中央区 —スポーツ拠点づくり推進事業—

①助成金額 5,000,000円

②事業名 平成22年度 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ ※総務省と文部科学省とで実施・推進する事業

(2) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 —子どもゆめ基金—

①助成金額 7,059,000円

②事業名 JBDF はじめてのボールルームダンス(社交ダンス)指導者養成講習会 ※文部科学省「教員免許状更新講習」の認定を受けて実施

(3) 笹川スポーツ財団 —SSF スポーツエイド—

①助成金額 1,000,000円

②事業名 学校キャラバン隊

(4) サンスター株式会社

①協賛金額 2,205,000円

②事業名 日本インターナショナル選手権大会、スーパージャパンカップ選手権大会

【助成金等確保 総額15,264,000円】

以上

※総局・支局等主要競技会

◎北海道総局

※毎日杯・杉山杯争奪全道ダンス選手権大会	平成 22 年 4 月 11 日
※全道クラス別ダンス競技会小樽大会	平成 22 年 5 月 30 日
※北海道インターナショナルダンス選手権大会	平成 22 年 6 月 18 日
※北海道ボールルームダンスアスリート協会主催 前夜祭・全道アマチュアダンス競技会	平成 22 年 6 月 17 日
※ドリーミーダンス競技会苫小牧大会 AC 級	平成 22 年 7 月 18 日
※道新スポーツ杯争奪北海道ダンス選手権大会	平成 22 年 9 月 5 日
※全道暮クラス別ダンス競技会 BD 級	平成 22 年 10 月 10 日
	平成 22 年 11 月 14 日

◎東部総局

※東部日本ダンス選手権大会	平成 22 年 7 月 4 日
※アマ東部日本選手権 Jr・Jv	平成 22 年 11 月 7 日
※全関東ダンス選手権大会	平成 22 年 11 月 27 日
同	平成 22 年 11 月 28 日
※スーパージャパンカップ	平成 23 年 3 月 5 日
同	平成 23 年 3 月 6 日

◎中部総局

※中部日本ダンス選手権大会(静岡)	平成 22 年 4 月 25 日
※名古屋インターナショナルダンス選手権大会	平成 22 年 6 月 16 日
※中部日本ダンス選手権大会(岐阜)	平成 22 年 9 月 26 日
※JBDF プロフェッショナルダンス選手権大会	平成 22 年 10 月 16 日
第 60 回全日本アマチュアダンス選手権大会	平成 22 年 10 月 17 日

◎西部総局

※JAL カップ争奪前期西部日本ダンス選手権大会	平成 22 年 4 月 29 日
※大阪インターナショナルダンス選手権大会	平成 22 年 6 月 19 日
同	平成 22 年 6 月 20 日
※後期西部日本ダンス選手権大会	平成 22 年 10 月 10 日
※レアード杯争奪ダンス選手権大会	平成 22 年 10 月 31 日
※JBDF 西部総局主催アマチュアダンス競技大会	平成 22 年 11 月 21 日

◎九州総局

※全九州ダンス選手権・大分大会	平成 22 年 4 月 25 日
※九州インターナショナルダンス選手権大会	平成 22 年 6 月 22 日
※全九州ダンス競技会・熊本大会	平成 22 年 8 月 8 日
※全九州ダンス選手権・福岡大会	平成 22 年 9 月 19 日
※全九州ダンス選手権・山口大会	平成 22 年 10 月 24 日
※全九州ダンス選手権・佐賀大会	平成 22 年 11 月 21 日
※全九州ダンス選手権・長崎大会	平成 23 年 2 月 20 日